

令和6年度第1回瀬戸市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体会議 議事録

開催日時	令和6年7月8日（月）午後2時から午後3時30分まで
参加者	委員：別紙委員名簿のとおり 事務局：高齢者福祉課長、専門員兼地域支援係長、担当主事
場所	瀬戸市役所 大会議室
内容	1 開会 委員の紹介 議事に入る前に事務局より昨年度行われた協議体の振り返り、また今年度の協議体での検討事項について再確認を行った。 2 議事 （1）委員長・副委員長の選任 第一層生活支援コーディネーターより、委員長、副委員長の推薦。 （2）令和5年度瀬戸市施策の報告 【資料1】を基に事務局より説明。 〔事務局より説明〕 ①移動支援事業について、昨年に引き続き道泉・東明連区で実施。 道泉連区に関して、買い物支援を令和5年10月から令和6年2月まで月2回、計10回カーマ・水野イオンで実施。 東明連区に関して、旧東明小学校にてボッチャ交流会を3回開催。 ②大人の本気ダンスプロジェクトについて 「瀬戸の情熱」伝道師、新規講座を開催。市内公民館にて体験会を実施。 ③令和元年度から令和5年度の主な事業の実績回数について 計6事業開催。コロナが規制緩和され参加者が増加。シニアスポーツカレッジに関して、大学の都合により休止。令和7年度からは実施予定。 （3）令和6・7年度検討事項について（生活支援連絡会議を受けて） 【地域ケア会議の種別と構成】を基に事務局より説明。資料の読み上げ。 【資料2・3】を基に基幹型地域包括支援センターより説明。 〔基幹型地域包括支援センターより説明〕 資料2について、令和4・5年度の地域ケア会議から抽出された地域課題を深刻性・広範性の視点で作成。表の読み上げ。 資料3について、地域ケア会議から抽出された地域課題の一覧。重点項目をカテゴリー別にまとめ、広範性が高い順に列挙。地域課題が抽出された背景も併せて提示。地域課題が抽出された背景は生活に及ぼす視点として記載。 地域とのつながりの希薄化。地域型センターからは、全ての困りごとが行きつく先のようなイメージがあり、議論がぼやけるという意見が挙げられた。 地域のつながりが不足することで起こる課題（4点）

①緊急時、協力者の不在。急な体調変化、転倒時に早期発見されず不安。アパートの隣人が孤独死をして強い不安が募る。事例として一人暮らしで転倒し、ヘルパーが発見するまで30時間もそのままであった。この方は支援があるため発見されたが、緊急時に助けを求める方法があれば本人も安心して生活できたのではないかな。

②男性高齢者の外出きっかけ作り。地域行事に参加する方は女性が多く、男性の参加が少ない。生きがいや社会的役割がないことで閉じこもりやフレイルに繋がりがやすい。

③近所に頼れる家族がいない。坂道や階段が多く、一人で荷物を運ぶことができず買い物に困っている。

④交流する仲間が近くにいない。地域の行事が減り、多世代交流する場の減少。デイサービス利用者の増加により井戸端会議の減少。地域の繋がりが不足したことで孤独・孤立が原因となり様々な不安を抱えて生活をしている。

4つ内容は異なるがリンクしている。近所が互いを知り、繋がることができればお互いに声を掛け合い、助けあうことで自身のできることを役割として担うことができる。

移動について問題が挙げられ、移動すること自体に関すること、移動できないことで起こりうることの2つに分類した。

①運転免許証返納後、移動手段の問題。一人での外出が困難な人への支援。公共交通機関の使いづらさ。家族に送迎を頼みづらい。車で通えていた場所に気軽に行けなくなった。趣味活動等で家族に送迎を頼みづらい。これまであった友人交流が途絶え移動の問題でも寂しい思いをしている人がいる。

②徒歩圏内の買い物先が不足。趣味等を目的とした場所がない。移動が困難になることで今まで行けていた所へ行けなくなるだけでなく、買い物先等の情報が届かず、生活に影響がでている。近くに買い物先があるとしても情報が届かない。移動も人との交流に影響を与えている。

専門職の連携体制では、様々な理由（本人・家族に精神疾患や発達障害等）で整理整頓ができない世帯の支援を実施。専門的知識を必要とする問題について専門職間の連携を図らなければ改題把握・解決に繋がらない。

その他、認知症に関する研修に出席し、認知症の方に生活の中での楽しみや幸せについて質問。11個の生活領域の中で人と交わる項目が最も多い。交わりの中には「自分が自分らしく」「緩やかな結びつき」「人のために役に立つ」ということが挙げられた。認知症の有無に関わらず誰にでも共通するのではないかな。また、「退屈」は「孤立・孤独」の大きな要因であるからこそ交流・楽しみが大切である。

今回の地域課題でも通じる点が多く挙げられたのではないかな。本会議にてどの点に着目していけるか協議していきたい。

【令和6・7年度協議体会議の進め方について】を基に事務局より説明
〔事務局より資料の読み上げ〕

〔委員長より〕

第2回の会議ではグループワークを実施予定。意見交換しやすい体制へ。資料2・3に基づき、地域課題が何か挙げられた。次回グループワークで取り上げる意見を皆様から頂きたい。第3回ではオブザーバーを呼び座談会を実施し令和7年度につなげていく。

資料2の説明があった通り、カテゴリー別で各地域から挙げられるものは深刻性・広範性が高いものが多い。様々な問題点に関して、地域力活動団体にて地域の問題解決を地域住民で考え、行動し市と協力しながら実施している。

地域との関わりの希薄化について、瀬戸だけでなく全国の問題。希薄化は避けられないが、少しでも留めていく状態を作れないか今後の会議でアイデアをいただきたい。

(4) 令和5年度生活支援コーディネーター報告

生活支援コーディネーターの自己紹介

【資料4・5】を基に第1層生活支援コーディネーターより説明

〔第1層生活支援コーディネーターより説明〕

【資料4】活動内容について3つに分類して取組を実施。

①資源の把握及び開発について、瀬戸市内で事業活動を実施している企業と「地域福祉パートナーシップ事業者認定制度」を締結。担い手に着目し企業と協力しながら地域の生活支援や健康を支える活動を実施。令和6年5月現在で12社と締結。

「ふくしボランティアフェスティバル」を開催。地域の支え合い活動に繋がる団体紹介PRとして開催。ボランティアを通じて生活支援も活発になっている。

よりどころが令和6年5月末現在で53ヶ所だったが、本日時点で49ヶ所に減少。地域の担い手が高齢化してきており、閉鎖してしまう。居場所を資源一覧にて作成したが、情報弱者へ情報が届かない。ネットに載せても高齢者はネットに馴染みがないため、冊子で見ていただく。それでも情報が届かず、家にこもり出かける場所がないという相談も多い。

②ネットワーク構築について、各種団体と繋がり、市民の生活支援につながるよう協議を実施。

③サービスの担い手の養成について、問題がある。よりどころを運営している方々へ負担がかからないようにできる限りのサポートを実施。

令和5年度の活動を受け、令和6年度では地域のつながりから発生する課題が多く、引き続き地域の居場所作りを主とし、取り組んでいる。また、地域の居場所ができることにより外出のきっかけや出先での繋がりを持ち、「孤独感・孤立感」から生まれる不安を軽減し安心して生活が送れるよう引き続き支援を行う。

単身・高齢者夫婦でなにかあった時にどう対応して良いか分からない、本当に困った時連絡は誰にしたら良いかという相談が多い。繋がりをベースにした不安解消を一緒に考えればと思う。

【資料5】生活支援コーディネーター事業報告について

地域包括支援センターのふたば・中央東・しなの3圏域を受託。地域ケア会議開催について、各包括と協力しながらコーディネーターとしても意見をだして協力している。資料の読み上げ。

〔第2層生活支援コーディネーターより説明〕

川西町で行っている川西クラブで週1回サロンを開催。顔見知りができただけにより、どこか出かけたいという声が上がった。月に1回銀座通商店街にてマルシェが開催されており、外出企画を立て楽しまれた。生きがいや楽しみが居場所に繋がっている。参加者の中には頼れる家族がいない方や独居の方がいる。この場でお互いの体調の不安や気になりごとを聞き、サロンの方が社会福祉協議会や包括につないでくださり、相談する場所につながるという効果がある。しかし、漠然とした不安を抱えている一人暮らしの方も多いのではないか。そういった方が相談できる場所が必要になる。

担い手について、代表が高齢化等によりサロン自体がなくなってしまうため、引継ぎ手が出てこない。効範のパークシティ（よりどころ）にて、代表が辞任し次の代表が決まったものの不安。コーディネーターとしてよりどころの支援も行っているため、他のサロンや講座の紹介、レクリエーションの情報提供をしている。担い手をどのように作り、継続するのが大切である。

〔基幹型地域包括支援センターより説明〕

よりどころの運営・参加者の声について、連絡無でお休みする方に対し、本日はなぜ休んでいるのか等の声上がり、お互いを心配する関係性が構築されている。みんなが参加しやすいよう内容の工夫をしている。グラウンドゴルフのよりどころは良い運動の機会になっている。よりどころで人とのつながりがあるからこそ仲間を思い合い、心配し合える関係性になっていることを実感。

〔瀬戸旭医師会より意見〕

地域課題一覧より、急な体調変化や早期発見について、マイナンバー等で緊急時活用できると良い。高齢者の緊急連絡を整理する必要があるのではないかな。

〔瀬戸市シルバー人材センターより質問〕

菱野団地は外国の方が多いが、よりどころの参加は多いのか。場所は分かるのか。

〔第1層生活支援コーディネーターより回答〕

地域によって偏りがある。菱野団地はよりどころが少ない。NPO法人まごころで毎日サロンを開催。瀬戸市自治連合会では子ども居場所「だべりば」を開催。そこでは国籍関係なく、子どものつながりにより参加者は多い。NPO法人が外国の方の支援を行っており、生活の困り事は時々入る。外国の方とのつながりは長期にわたり課題となっている。

〔基幹型地域包括支援センターより回答〕

地域の繋がりが分断される原因の一つに病気・介護状態が挙げられる。資源があっても情報が届きにくいのであれば、医師会等の先生方から社会的処方で地域の資源を患者に紹介、介護保険サービス以外にも地域の居場所がある、と勧めていただけると地域の方と繋がるきっかけになるのではないかと。よりどころの偏りについて、効範連区は地域の交流サロンを地域力で始めた。それがきっかけで近くに居場所があるという所に繋がった。

〔委員長より質問〕

地域資源の冊子についてネットでは見ることはできるが、配布場所はどこか。

〔事務局より回答〕

市役所窓口、支所、包括支援センターに配布。

〔第一層生活支援コーディネーターより質問〕

瀬戸介護事業連絡協議会へ実際携わっている中で、基幹型地域包括支援センターが示したマトリックスを見て共感や課題を教えていただきたい。

〔瀬戸介護事業連絡協議会より回答〕

人との交流がなくなってきている。寂しさ・孤独感は寿命にも直結していると言われているため、重要な問題であり共感が多い。第2層生活支援コーディネーターから話があったよりどころ・サロンを増やしていけたら良い。また担い手問題について、次のグループワークでは担い手の作り方・掘り起こし方等があると今後サロンの継続・増加につながるのではないかと。

〔地区社協会長連絡会より質問〕

瀬戸市で集会所を持っている連区はどこか。近くで集まれる場所があると良いが、そういった場所を作っていかなければならないのか等について知りたい。

〔事務局より回答〕

当時は80～90ヶ所くらいの集会所があった。集会所の土地は瀬戸市、建物は地域で管理しているため、高齢化・担い手不足により集会所の面倒が見きれていない。

〔第一層生活支援コーディネーターより回答〕

他市町では空き家の活用をしながら居場所の支援を進めている。個人宅だと家族の理解が必要なため、ハードルが高い。空き家とは言え、光熱水費がかかってくるため借りる人が支払うが、それに対し市が助成する仕組みで実施している。

〔瀬戸市社会福祉協議会より質問〕

もーやっこについて聞きたい。

〔事務局より回答〕

もーやっこシステムは冷蔵庫にセンサーを設置し、一定時間開閉がないと連絡が入るものである。本人・家族と連絡が取れない場合、包括支援センターや市職員が

現場確認を行う。

〔瀬戸市社会福祉協議会より質問〕

道泉連区の移動支援について対象者はどれくらいいるのか。参加者は決まっているのか。いつも決まった人が参加するのではないのか。

〔事務局より回答〕

道泉連区65歳以上が対象。ジャンボタクシーの乗車人数が決まっているため1回8人。参加者はリピーターが多く、80歳以上女性や独居、運転免許証がなく移動手段もない方々。組回覧にて参加を募るが、先着順のため同じ人が集まってしまう。今後申込が増えた場合、タクシーの増便を検討。参加者の偏りについて、南側は駅もあり比較的便利だが、北側は山に囲まれコミュニティバスも通っていないため、自家用車がないと移動が難しいという連区の特性がある。

〔瀬戸市民生委員児童委員協議会より意見〕

民生委員は災害時支援台帳を依頼されているが、地区によっては交通が悪く移動等に困っていることを伝え、今後改善したい。中心部に住む者はあまり不自由なく過ごしているが、地区外を見ると困り事が資料に羅列されているため、色々なことを注意して行っていけるよう会長として民生委員に伝えたい。

〔委員長より意見〕

具体的なテーマを挙げて次に望みたい。地域課題を整理したところから抽出できる問題を整理したが、グループワークでの意見を出し合いたい。1つはよりどころ・通いの場の役割やよりどころの数の増加。地域にどれくらいの資源があるか、どう発掘するか。よりどころに限らず、どのように困っている人に情報伝達をするか。

低リスクのうちに問題発生を減らす・遅らせることが大切。低リスクの人を対象として健康・長寿に期するようなプロジェクトを行う。その一つが通いの場を増やすことである。健康で安全なうちに通いの場に通う習慣が身につくと体が衰えても繋がりが切れない。希薄になって嘆くのではなく、繋がりがあううちに繋がる習慣を地域で持つ。

グループワークでやりたい課題解決のテーマがあれば、事務局に連絡をいれていただきたい。

3 その他

事務局よりアクティブライフについて説明

4 閉会